

**2019 年度 AO 選抜 政策科学部**  
**「政策科学セミナー方式」**

---

**【選考講評】**

**1. 実施状況**

志願者数、合格者数等

学科・学域・専攻	志願者数	一次合格者数	最終合格者数
政策科学専攻	66	13	11

**2. 試験内容**

(1) 第一次選考

政策科学部の行った AO 選抜「政策科学セミナー方式」の第一次選考は、政策科学部教員による 50 分の講義を行い、20 分程度の質疑応答を経て、その上で講義内容に関するレポートを 60 分で作成してもらうものでした。

2019 年度のテーマは「若年層の就業問題」です。本講義の内容は「若年層の就業状況の変化」、「若年層の労働市場の問題」、「若年層の就業についての将来に渡る問題」、「若年層の就業問題が引き起こす社会的課題」及び「2000 年以降の若年雇用対策の取組」からなり、本講義内容に関する 4 つの問題を出題しました。

(2) 第二次選考

第二次選考は、政策科学部教員の司会による 60 分のグループ・ディスカッションを行うものでした。2019 年度は受験者数 11 名を 2 班に分け実施しました。

2019 年度のテーマは「若年層の就業問題をいかに解決するか」です。討論の前半は若年層の就業の問題、課題について 1 名 1 回の発言をし、各発言に対し議論してもらい、討論の後半は若年層の就業の問題・課題に対する解決策・提案について 1 名 1 回の発言をし、各発言に対し議論してもらいました。

**3. 出題の意図**

(1) 第一次選考

問Ⅰは、講義及び配布資料の内容を理解し、論理的に説明することができるかを問う問題でした。

問Ⅱは、講義及び配布資料の内容を理解し、論理的に説明することができるかを問う問題でした。

問Ⅲは、数的処理能力および英語力を問う問題でした。

問Ⅳは、自分の意見を持ち論理的に表現することができるかを問う問題でした。

(2) 第二次選考

第一次選考で説明された内容や提起された資料などに基づいて、論点の問題状況について論理的に整理して理解しているか、自分の意見を論理的に説明することができるか、また、論点の解決案・提案について自分の意見を論理的に提示できるか、他人の意見を理解し、それらを踏まえながら最大公約数的な結論を出すことができるかを問うものでした。

#### 4. 評価のポイント

##### (1) 第一次選考

問Ⅰは、講義及び配布資料の内容を理解し、論理的に説明することができるかを評価しました。

問Ⅱは、講義及び配布資料の内容を理解し、論理的に説明することができるかを評価しました。

問Ⅲは、正しく英語の図表を理解できたか、数を計算できたかを評価しました。

問Ⅳは、自分の意見を持ち、論理的に表現することができるかを評価しました。

##### (2) 第二次選考

第一次選考での講義資料や内容を踏まえた内容の発言ができていないか、論理的に整理した発言ができていないか、自分の意見を言う場合他人の意見や発言を踏まえた内容の発言ができていないか、議論の流れを踏まえつつ最大公約数的な結論を出すことができていないかなどを評価しました。

#### 5. 解答状況

##### (1) 第一次選考

問Ⅰ（満点 20 点）の解答状況

合格点である 12 点を満たす受験生はおらず、平均点は 6.5 点でした。

内訳をみると、4 点 7 名、6 点 35 名、8 点 14 名、10 点 4 名でした。

全体として、講義及び資料の内容を理解できておらず、論理的に説明することもできていませんでした。

問Ⅱ（満点 30 点）の解答状況

合格点である 18 点以上の受験生は、16 名にとどまりました（対受験生率：26.7%）。

全体として、講義及び資料の内容を十分に理解できておらず、論理的に説明することができていないとはいえませんでした。

問Ⅲ（満点 20 点）の解答状況

合格点である 12 点以上の受験生は、9 名にとどまりました（対受験生率：15%）。

全体として、数的処理能力と英語力について十分ではありませんでした。

問Ⅳ（満点 30 点）の解答状況

合格点である 18 点以上の受験生は、17 名でした（対受験生率：28.3%）。

全体として、自分の意見の論理的説明力が十分とはいえませんでした。

##### (2) 第二次選考

第二次選考のグループ・ディスカッションは、2 つのグループに分けて行いました。ほとんどの受験生は、所定時間内で自分の意見を積極的に表明できており問題視すべき態度や発言等が見られない点で評価できました。

#### 6. 次年度受験生へのアドバイス

政策科学部は、社会ないし国際社会で起きている様々な問題を民主、人権、平和、公正、

持続的発展などの共有価値の下で政治学、法学、経済学、経営学、財政学、社会学、環境学、歴史文化などの観点から原因や背景等进行分析し政策課題を探り解決案等を考えていく学部です。社会ないし国際社会でどんな問題が起きているのか、なぜ問題が起きているのか、どうすれば民主、人権、平和、公正、持続的発展可能な社会ないし国際社会を構築することができるのか、そのような社会ないし国際社会を発展させていくために私たちが何かできるのかを考える力を身につけるように心がけてください。

また、政策科学部は社会、人文科学のみならず自然科学も勉強できる学際的な学部であり、自然科学の視点から物事を考える力をも身につけるように心がけてください。

以上